

たていしレポート

http://www.tateishi.gr.jp/



3月号

発行：立石泰広事務所 住所：〒332-0021 埼玉県川口市西川口 6-4-13-101
TEL：048-255-8878 FAX：048-251-7307 E-mail：seikei-p@sainet.or.jp

平成23年3月10日

今任期最後の議会が開会

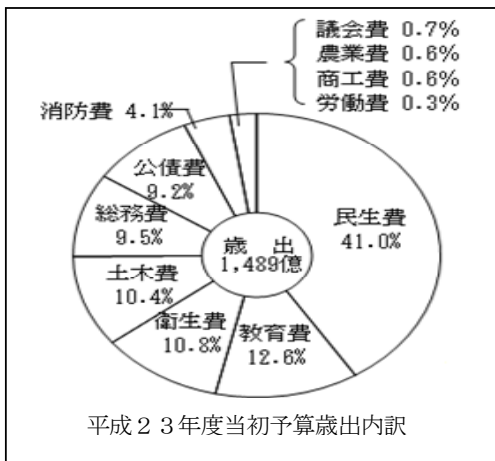
2月16日に開会した3月市議会定例会が、3月9日に閉会し、議員の任期である4年間の最後の議会が終了しました。

平成23年3月市議会定例会において、平成22年度補正予算議案、平成23年度関係議案（当初予算・一般議案）46件が提出され、審議の結果、いずれも可決されました。

一般会計は前年度当初予算対比で、歳入は、市税が約17億円2.2%減少を見込み、当初予算では、6年ぶりに普通交付税を計上するなど、財源の確保は以前にも増して厳しい状況です。また、歳出は、4.5%増の1,489億7,000万円となり、生活保護扶助費や子ども手当の支給拡大などにより民生費が一般会計予算の4割を超える状況となっています。

私は、今任期最後となる議会で、自民党を代表して一般質問を行いました。

今任期中には、議会改革の一環として、対面式の質問ができるように議員席側に質問席（写真）を作るなど、これまでの、議員が議長席の前で一括質問し、理事者が



一括答弁する一括質問方式に加え、大きな設問ごとに質問と答弁を繰り返す一問一答方式を取り入れられました。

また、傍聴席前には大きな画面を置き、だれが質問し、答弁しているかがわかるようにモニターでは議員の名前や所属党派名、答弁者の役職などを紹介しています。

改選後には、インターネット中継を導入するなど、さらに議会の公開性を高めていく予定です。



たていし やすひろ プロフィール

昭和36年12月3日 丑年 川口市生まれ
西川口幼稚園・仲町小学校・玉川学園中学部・高等部卒業
中学から高校2年までの5年間、親元を離れ寮生活を送る。
クラブ活動は剣道（2段）とバレーボール。
玉川大学卒業後、地元で就職する。



25歳で川口青年会議所に入会し、第34代理事長を務める。
青年会議所での活動を通して、まちづくりの重要性を強く感じ、
じばん（後援会）かんばん（知名度）かばん（お金）のない中、
29歳の時に市議会議員選挙に立候補し、初当選を果たす。
現在5期目。職務に邁進するかたわら、平成20年9月から明治大学
公共政策大学院で学び、平成22年9月19日に卒業しました。

座右の銘

『至誠』

政策テーマ

『まちの宝みがき』

信条

『他人と過去は変えられないが、自分と未来は変えられる。』

所属委員会

公有財産活用・災害対策特別委員会委員長
総務常任委員会委員

議会職歴

第60代川口市議会議長、埼玉縣市議会議長会会長 など

その他

川口市・鳩ヶ谷市合併協議会委員
川口市シルバー人材センター理事
（仮称）赤山歴史自然公園等検討委員会副委員長など

著書

『生活保護と自治体』（株都市出版）



響 (ひびき)

鳩ヶ谷市との合併

鳩ヶ谷市との合併の経緯

鳩ヶ谷市との合併を振り返ると、昭和15年に合併、25年に分離、また、7年前には、蕨市を含めた3市の合併協議が、最終的に破綻した経緯があります。

その後、鳩ヶ谷市では、平成18年10月の市長選挙で、川口市との合併に積極的であった木下市長が当選し、平成19年4月に合併推進室を設置しました。平成21年1月30日には、鳩ヶ谷市長・鳩ヶ谷市議会議長の連名により、川口市長・川口市議会議長に対し合併協議の申し入れが行われ、川口市では、平成21年4月、総合政策課に、合併担当職員を3名配置しました。

その後、平成21年11月17日に鳩ヶ谷市長から「編入合併」とするなど合併協議にあたっての基本方針と任意合併協議会設立の申し入れがあり、合併の是非を含めた協議の場として、平成21年12月24日に「川口市・鳩ヶ谷市任意合併協議会設立会及び第1回任意合併協議会」が開催されました。

任意合併協議会から

法定合併協議会

任意合併協議会は平成22年9月28日までに11回開催され、引き続き同日に第1回法定合併協議会が開催されました。

平成23年1月13日の第3回合併協議会では、これまでに提案された合併協定項目がすべて決定されたことで、両市の合併の是非について協議されました。

その中で、合併期日について、川口の日「11月10日」、鳩ヶ谷市にちなみ「8月10日」などの意見もありましたが、電算システムの統合等に時間が必要のため、市民の方に迷惑がかからないよう、三連休明けの10月11日に合併するとの意見が多く、協議会では合併を「是」とすることに決定しました。

その後、平成23年1月28日に埼玉県知事の立会いのもと「川口市・鳩ヶ谷市合併協定調印式」が開催されました。



鳩ヶ谷市庁舎

鳩ヶ谷市議会・川口市議会での

合併に関わる議案

鳩ヶ谷市議会では、平成23年2月18日の第1回鳩ヶ谷市議会臨時会において、川口市と同様の合併関連の4議案が、記名表決の結果、賛否同数により議長裁決で可決されました。

また、「鳩ヶ谷市が川口市と合併することについて、賛否を問う住民投票条例」は、記名表決、賛否同数により議長裁決で否決となりました。

川口市議会では、次の合併関連4議案が3月9日に可決されました。

①川口市及び鳩ヶ谷市の廃置分合について

平成23年10月11日から鳩ヶ谷市を廃し、その区域を川口市に編入することを埼玉県知事に申請することについて、地方自治法の規定により議会の議決を求めるもの。

②川口市及び鳩ヶ谷市の廃置分合に伴う財産処分に関する協議について

鳩ヶ谷市の財産をすべて川口市に帰属させることを、鳩ヶ谷市と協議の上定めることについて、地方自治法の規定により議会の議決を求めるもの。



響 (ひびき)

③川口市及び鳩ヶ谷市の廃置分合に伴う議会の議員の定数に関する協議について

川口市議会の議員の残任期間に相当する期間に限り、川口市議会の議員の定数を増加し、鳩ヶ谷市の区域をその区域とする選挙区を設け、5人の増員選挙を行うこと、増員選挙は1回限りとするを、鳩ヶ谷市と協議の上定めることについて、市町村の合併の特例に関する法律の規定により議会の議決を求めるもの。

④川口市及び鳩ヶ谷市の廃置分合に伴う農業委員会の委員の任期等に関する協議について

鳩ヶ谷市の農業委員会の選挙による委員である者のうち2人は、川口市農業委員会の委員の在任期間に限り、川口市農業委員会の選挙による委員として引き続き在任することを、鳩ヶ谷市と協議の上定めることについて、市町村の合併の特例に関する法律の規定により議会の議決を求めるもの。

議員・特別職

議員については、合併協議会の協定項目で次のように定められています。

(1) 議員定数及び任期の取扱いについては、川口市議会の議員の残任期間に相当する期間に限り、川口市議会の議員の定数を増加し、鳩ヶ谷市の区域をその区域とする選挙区を設け、増員選挙を行う。

(2) 合併特例法第8条第5項の規定は、適用しない。

※合併最初の川口市議会議員選挙では、新市で定めた議員定数となります。

(3) 合併後の議員定数については、新市の市議会において定める。

特別職については、鳩ヶ谷市の次の方が失職となります。

○常勤特別職

市長・副市長

○非常勤特別職

教育委員会委員・監査委員・公平委員会委員・固定資産評価審査委員会委員

合併後の鳩ヶ谷市域の増員選挙の人数の算出方法 (人口は平成17年国勢調査)

川口市 480,079人 (人口) ÷ 40人 (議員定数) ≒ 12,000人に議員1人

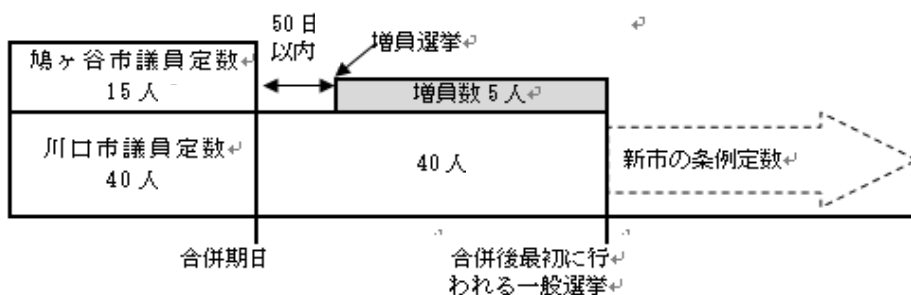
鳩ヶ谷市 58,355人 (人口) ÷ 15人 (議員定数) ≒ 3,890人に議員1人

川口市の議員1人あたりの人口に合わせると

鳩ヶ谷市 58,355人 (人口) ÷ 12,000人 (川口市議員1人あたりの人口)

= 4.86人 ≒ 5人

となることから、鳩ヶ谷市域の議員の増員は5人となります。



これまでの川口市の法定議員定数は、人口50万人未満で46人でしたが、合併により人口50万人以上となり、法定議員定数は56人となります。



響 (ひびき)

両市の事業の比較

事務事業一元化調査（平成23年2月14日現在）では、川口市あるいは鳩ヶ谷市のいずれかの市のみが行っている事務事業は、両市を合わせますと、約800事業となります。

このうち、川口市のみで行っている事務事業が90%を占めており、川口市のみで行っているサービスの数が大きく上回っている状況となっています。

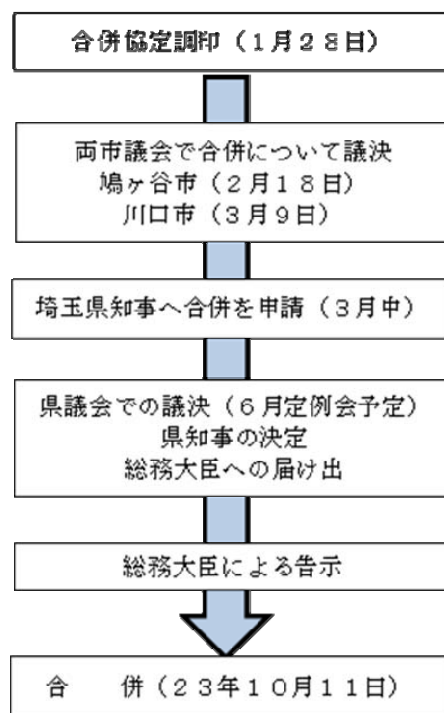
表は、川口市と鳩ヶ谷市の制度・料金の違い一例です。

上の表1は、助成金制度、下の表2は上下水道・保育料等の料金について比較してみました。

表1	川口市	鳩ヶ谷市
住宅改修資金 助成金事業	上限10万円	実施なし(H23年度実施予定)
私道舗装 助成金事業	上限300万円	上限200万円
私道排水設備補 助成金事業	補助対象工事費の80%	補助対象工事費の40%~60%

表2	川口市		鳩ヶ谷市	
水道料金 (20㎡の場合)	13mm	2,163円	13mm	2,215円
	20mm	2,698円	20mm	2,436円
水道利用加入金 (口径)	13mm	80,000円	13mm	130,000円
	20mm	160,000円	20mm	200,000円
下水道使用料 (1か月に20㎡排水)	1,354円		1,795円	
下水道受益者負担金	なし		あり	
留守家庭児童保育料 (課税世帯)	一律	7,000円	1,000円~4,000円 (7段階)	
保育料(最高限度額)	3歳児未満	60,000円	3歳児未満	58,000円
	3歳児	29,000円	3歳児	28,000円
	4歳児以上	25,000円	4歳児以上	24,300円

合併までの流れ



平成23年10月11日の合併までの調整事項

① 鳩ヶ谷市庁舎の活用

鳩ヶ谷市に支所機能を置くものとし、取扱い業務については合併時までに調整することとなり、鳩ヶ谷市庁舎の活用については、分庁舎機能等を含め調整します。

② 町・字名の取扱い

川口市の町名と同一及び類似の鳩ヶ谷市の町名については、地域住民の意向を踏まえて調整します。

例 本町↓鳩ヶ谷本町、緑町↓鳩ヶ谷緑町、南↓南鳩ヶ谷

※現在、鳩ヶ谷市においてパブリックコメントを実施しています。

今後は、3月中に埼玉県知事に合併の申請。その後、6月の定例県議会で議決、知事の決定があり、総務大臣に届け出がされ今年10月11日に合併となります。最後に、鳩ヶ谷市の9割以上は川口市と接しています。新たな川口市として大いなる飛躍を願います。

たていし やすひろ☆しせい (市政・姿勢・至誠) ブログをご覧ください。「ホームページからご覧いただけます。」